

# 介護報酬改定案

## 安上がり体制

## 加速

介護保険サービスごとに事業者が受け取る4月からの報酬が6日、決定しました。特別養護老人ホーム（特養）など施設は大幅削減し、在宅サービスは加算を増やすなど、介護報酬の総額を抑え、安上がりの体制づくりを狙っています。

## 施設は大幅削減 利用者・労働者にしわよせ

施設にも逆行する内容です。

さらに特養の相部屋入居者にも、新たに月額1万4100円の部屋代を徴収し、負担増となります。

通所介護の小規模事務所は最大で9%削減。

一方で、認知症加算、中重度者ケア体制加算が新設され、受け入れを促進します。

「訪問」「通所」も

通所介護の小規模事務所は最大で9%削減。

一方で、認知症加算、中重度者ケア体制加算が新設され、受け入れを促進します。

## 上乗せは限定的

6日の社会保障審議会介護給付費分科会で

介護は約5%、通所介護は約20%それぞれ削減。各自治体が決める上乗せは限定的

サービス単価は、介護報酬が目安となるたまに水をさす」「加算で埋め合わせるやり方は悪い」と、改定案への批判意見がありました。

る「定期巡回・随時対応サービス」や、通りになります。

バスを加速させること

わ寄せは避けられず、上乗せ加算をとれる事

になります。

わせた「小規模多機能型居宅介護」は普及を図ります。他のサービスと併用した場合に、

利用者の負担上限を超えないように見直します。

要支援者むけのサービスが指摘されていま

るといながら、グレードホームの基本報酬も6%近く削減しま

す。宿直職員を多く配

置した場合の報酬は増やされました。が、人員が少ない事業所への影

響が指摘されています。

介護報酬が下がれば、一般的に利用者の自負担も下がりますが、保険料は全国平均で5550円程度となり、約10%の大アップとなります。

6日の社会保障審議会介護給付費分科会で

介護職員の処遇改善は、委員から「基本報酬が下げられたことを

は、月額平均1万2000円の賃上げになる

危惧している。処遇改

よう上乗せ加算を設けます。しかし、基本報酬が大幅に下げられる

邪道だ」と、改定案への批判意見がありました。